

滋賀県  
議会議員

# 桐田まこと

きりた  
県政報告  
Vol.10



## 滋賀県議会定例会議

### 一般質問

9月定例会

#### Q ジャパンハウス ロンドン 「大津祭 IN ロンドン」の開催について

国指定重要無形民俗文化財指定の「大津祭」は動く文化財ともいわれ、世界の伝統文化を保護するユネスコの無形文化遺産の登録申請に向けた手続きが開始されている。

令和6年1月に外務省「ジャパンハウスロンドン」プロジェクト「SPOTLIGHT ON LOCAL JAPAN」に「マイフロ版大津祭」が採択され、11月30日にイギリスにおいて「大津祭 IN ロンドン」が開催され、大津祭の披露展示やお囃子の体験が行われると共にロンドン市内の小学校を訪問が予定されている。

私は「大津祭 IN ロンドン」開催を契機として、その成果を地域の祭りへの情熱を紡ぎ、担い手などの後継者の育成と欧米豪からの誘客促進に向けて、どのように取り組まれるのか？

#### Q 東京日本橋「ここ滋賀」に期待する実践的な教育機能について

本県の首都圏における情報発信交流拠点「ここ滋賀」が東京日本橋に設置されている。「日本橋」は東海道をはじめ五街道の出発点であり、「近江商人」との深い繋がりがある。

今後、活かしていただきたいと願う。「ここ滋賀」において実践的な職業教育を担う教育機関として大きな可能性を感じ、教育の場として活用することを提案しているが、現状の計画について伺う。

#### A 本年度「高校版DMO・観光ビジネスプロジェクト」事業拠点校に指定している大津商業高校の生徒が11月30日(土)に実習を行う。

首都圏での新たな学びの機会を得て、アンソプレナーシップや地域貢献ができる人材の育成につながるものと考えます。

また、高校の授業としては県下初めての取り組みとなることから、大津商業高校の実習成果が県内の他の高校へ波及することを期待している。(抜粋)

#### Q 滋賀県文化財保存基金の今後について

本県の国宝・重要文化財に指定されている文化財の件数は全国第4位である。

平成25年に「滋賀県文化財保存基金」が新設され、文化財の価値を損なうことがないよう保存修理に要する指導や経費に対して国・県・地元市町が支援補助し、国民的財産として文化財を社会全体で支える保護の仕組みが示された。

しかし、創設当初の基金11億円は、令和6年度末の基金残高は過去最も少ない約3億円となる見込みである。今後、文化財の発掘や再評価により、滋賀県文化財保存基金が果たすべき役割がますます大きくなるものと認識し、更なる基金の積み増し、具体的には18億円程度必要と考える。

#### A 県内の文化財を次世代に確実に引き継いでいくことが重要な責務と考える。

今後、時期を逸することのないよう、計画的かつ安定的な保存修理の実施において本基金は非常に大きな役割を果たしていることから、必要な基金の確保に向けて精一杯努力してまいります。

11月定例会

#### Q 地域の産業化に向けた産学連携への支援について

現在、草津市立命館大学では宇宙関連産業を、大津市龍谷大学では農業を、県内各大学ではその専門性を活かした地域の企業団体等との連携の動きが加速化している。

滋賀県では、平成18年から平成30年まで大学や研究機関からの将来果実を結ぶ可能性の高い研究分野いわゆるシーズに支援、これが半導体研究の端緒となる取り組みにつながり、現在では滋賀県内をフィールドに、近未来技術等の社会実装・事業化に向けた実証実験や実現可能性調査の経費に対して助成している。

#### A 研究者の情熱や努力、挑戦をしっかりと支える本県の取り組みが期待されている。

今後、ものづくり基盤技術から最先端の技術、事業化につながる取り組みを着実に進める支援に取り組む。(抜粋)

#### Q 産業人材の育成確保に向けた高等専門学校への取組について

若者の理工系離れの傾向が続く現状、児童生徒へのアプローチが重要であるとともに、児童生徒が進路選択を行う際の主な相談者である保護者や教職員に対する、認知理解を深めていく積極的な取り組みが必要であると強く認識する。

本年9月11日には、県立高専への理解を深めるため「滋賀県立高専共創フォーラム」第一回イベントが開催され、県立高専が目指す学びの特長や育成する人物像、卒業生の産業界等での活躍イメージが発信された。

私は新設される県立高専の人材の確保育成に向けた取り組みの成果が、今後の本県における新産業創出と産業立地に向けた大きな可能性を更に高めていくものと確信する。

令和10年度高専開学を見据え、現在の中学

生や小学生の関心や保護者、教職員への理解を高める取り組みについて、伺う。

現在、子ども達に早い段階から関心を持ってもらえるよう、教育委員会と連携した出前授業などに取り組んでいる。

また、子ども達と双方方向のつながり広げる様々な取り組みやアプローチに努め、県内外から子ども達に選ばれる県立高専を目指す。(抜粋)

## 活動の様子



### トピック

#### SAGA2024国スポ

開会式入場行進に参加!!



ホッケー応援

#### SAGA2024障スポ

男女総合8位入賞 「びわこ国体」以来の快挙達成!!



グラウンドソフトボール応援



県選手団出発式

この秋、いよいよ、県内各地で開催!!  
ガンパロー滋賀県選手団!!  
県民みんなで応援しましょう!!



瀬田駅頭活動の様子



SAGA2024 国スポ応援



第2回龍谷杯野球大会開催叶う!!



立命館大学東京キャンパス訪問



びわこイ祭り



びわこイ祭り訪問



あかい家のこどもクリニック オムツ1万枚贈呈式に立会



滋賀県護国神社参拝 彦根市



古代国家と鉄訪問



中消防署竣工式に参列



石山寺訪問



中谷グループ 新米300kg贈呈式に立会



滋賀県護国神社参拝 彦根市



古代国家と鉄訪問



中消防署竣工式に参列



滋賀県護国神社参拝 彦根市



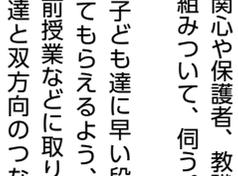
古代国家と鉄訪問



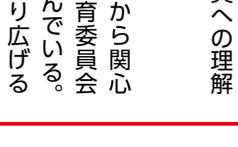
中消防署竣工式に参列



石山寺訪問



滋賀県護国神社参拝 彦根市



古代国家と鉄訪問



中消防署竣工式に参列



石山寺訪問

滋賀県議会議員  
桐田まこと  
教育・子ども若者常任委員会 委員  
公共交通・国スポ・障スポ大会  
対策特別委員会 副委員長

生年月日：1977年(昭和52年)3月生まれ 妻と娘2人の4人家族

- 大津市立瀬田小学校卒業
- 滋賀県立大津商業高等学校卒業
- 民間企業勤務
- 第95代大津市議会 議長(令和3年度・市議3期約12年)
- 大津市立瀬田北中学校卒業
- 立命館大学経済学部経済学科卒業
- 山下英利参議院議員秘書(元)

連絡先 大津市大江7丁目7番32の3号 TEL/FAX 077-547-4800



ホームページ 桐田まこと 検索